

## 図書館市場に 真っ向勝負をかけた 福祉施設



編集部=文  
text by KOTONONE  
山本尚明=写真  
photograph by Naoki Yamamoto

障害者福祉の法人で、真っ向、企業と勝負して  
事業をしているところはどれだけあるだろうか。  
社会福祉法人埼玉福祉会は、  
ターゲットを図書館に絞り、生き抜いてきた。  
それは、理事長・並木則康さんの  
スウェーデンの高福祉社会への疑問からはじまっていた。  
「社会保障で全部保障されちゃってる。  
働かなくて生活できることが、ほんとうに幸せなのか」。  
「図書館の総合プランナー」として  
地歩を固め、さて次の一手は。



印刷事業の部屋。図書目録の印刷からはじまり、いまはさまざまな出版物の編集を担う。  
図版や数式など組むのが難しいものも、請け負っている

### 図書館のことなら、 なんでもお任せ

本を読む人は少なくなっているとい  
うが、図書館を利用する人は、年々増  
えている。「シルバー層が増えたんです  
いまなんて、開館前に結構並んでます  
よ。リタイア後も知的刺激が欲しいん  
でしよう」と話すのは、社会福祉法人  
埼玉福祉会の理事長、並木則康さん。  
調べてみると、この二〇二〇年で全国の  
公共図書館数は二倍の約三三〇〇  
カ所に、登録者数はそれを上回る勢い  
で増え、四倍の約五七〇〇万人になら  
ていた。この市場の拡大に合わせ、着  
実に事業を広げてきたのが埼玉福祉  
会。名前を聞いたことがなくても、図  
書館を利用する人なら「サイフク」の  
商品やサービスを知らずに利用してい  
る人が多いだろう。

書誌データの入力や、本のフィルム貼  
り、司書スタッフの派遣などのサービス  
だけでなく、図書館用品の販売、家具  
のレイアウトプランニングや、管理システ  
ム、セキュリティ用品の販売まで、総合  
的な図書館のサポート事業を展開。  
学校図書館もふくめ、全国約三万カ

所の図書館と取引をしている。職員は  
一五〇人。そのうち四〇人が身体障  
害や精神障害などを抱える障害者だ。  
生きがいは、  
働きがいから

「福祉は経済あつてこそ。福祉の人は、  
そこをきき違えている。それではいざ  
行き詰まります」。理事長の並木さん  
の考えは、まず事業ありき。約四〇年  
前、ケースワーカーをしていたときに視  
察で訪れたスウェーデンで、その思いを強  
くした。「当時、みんなスウェーデンを賞  
賛しました。でもわたしは、ダメだと思  
いました。だって、社会保障で全部保障  
されちゃってる。働かなくて生活できる  
ことが、ほんとうに幸せなのかと」。

日本に戻った後、一九七八年に埼玉  
福祉会の設立に参加。仕事をつくら  
うと目をつけたのが図書館だった。  
「ちょうどそのころ図書館がどんど  
ん出来てきて、一部の仕事を外部委託  
しはじめたその夜明けだったんです」。  
日本図書館協会から、図書整理の仕  
事を受託。順調だったが、代表者が経  
営していた会社が倒産。一夜にして、